

## 2 1 航空宇宙産業の振興について

(財務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、(独)宇宙航空研究開発機構)

### 【提言の内容】

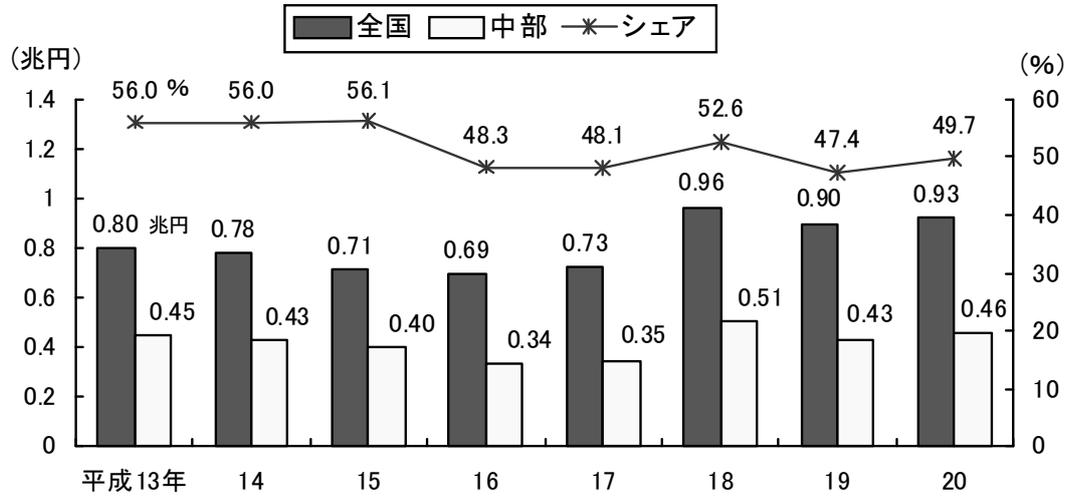
- (1) 本県が県営名古屋空港隣接地に整備を進めている「航空機に関する研究開発施設」を(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の新たな飛行実験場として利活用し、開発企業等との連携体制の強化や、航空宇宙産業等との産学官連携に向けた取組を推進すること。
- (2) 国家プロジェクトとして進められる次世代環境航空機の研究開発への一層の支援及び円滑な型式証明取得に向けた支援を図るとともに、政府専用機としての採用や諸外国への販売促進など、需要拡大のための国内外への普及策の推進を図ること。
- (3) 航空宇宙産業をすそ野から支える中小企業の振興を図るため、地域の取組と連携し、人材養成、基盤技術の高度化、海外を含めた販路拡大など支援を一層推進すること。

(背景)

- 本県を中心とする中部地域は、航空宇宙産業の厚い集積があり、国際共同プロジェクトによるボーイング機の開発やH-II Bロケットの開発などが進められている。  
航空宇宙産業は広範な産業分野の高度化を先導する重要な産業であることから、本県では、航空宇宙産業を次世代産業の一つと位置付け、人材育成や中小企業への技術移転など、その振興を重点的に図っているところであり、平成21年3月には、「愛知県航空宇宙産業振興ビジョン」を策定し、今後の本県における体系的・総合的な施策展開のあり方を提示した。
- 地域の大学においても航空宇宙分野の研究開発が進められており、名古屋大学では、平成20年7月にJAXAとの連携協力協定を締結するとともに、平成21年2月に「複合材工学研究センター」を設立するなど、JAXAとの連携を強化しつつ地域に密着した研究開発拠点の形成を目指した取組を進めている。
- こうした中JAXAは、平成21年4月に、新たに導入するジェット飛行実験機の機種を決定し、同年6月、本県が整備を進める「航空機に関する研究開発施設」への入居と、県営名古屋空港を拠点の飛行実験場として利活用することを決定した。
- また、国産ジェット旅客機(MR J)の開発は、我が国の航空機産業の発展に不可欠なプロジェクトであり、財政的な支援に加えて、型式証明の円滑な取得のための検査体制の充実や需要拡大策の実施など、官民あげて強力に支援していく必要がある。
- さらに、中部経済産業局は、航空機産業を支える部品加工企業の基盤技術の高度化やすそ野の拡大を目指して、航空機部品産業の結集・育成や他産業からの新規参入の推進を図る場として「航空宇宙産業フォーラム」を発足させ、産学官あげて支援している。

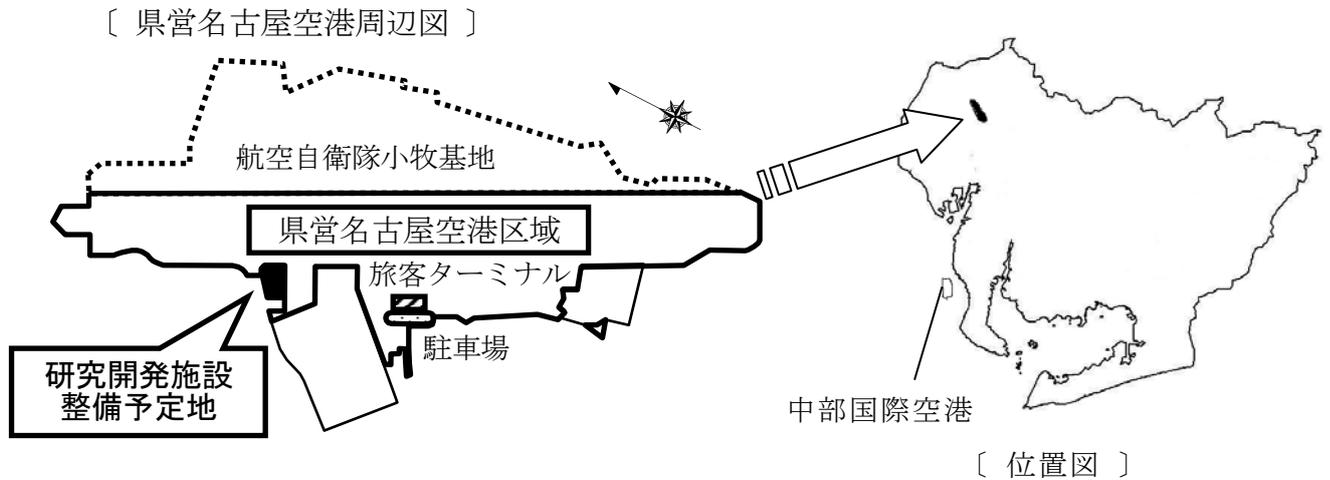
( 参 考 )

## 1 航空機・部品の生産額及びシェア



出典: 中部経済産業局「東海・北陸経済情報年報」(平成21年8月発行)

## 2 航空機に関する研究開発施設



航空機に関する研究開発施設  
〔基本設計イメージ図〕

## 3 次世代環境航空機



完成予想図 (三菱航空機(株)提供)